

石垣綾子 戦前長期にアメリカで生活、戦後、追放されて帰国、女性問題を中心に評論活動し、多くの論争。

いしがきあやこ

日比谷公園・1903 = 東京牛込生れ。田中三四郎の子。

日露戦争終・1905 = 2歳：

満鉄発足・1906 = 3歳：母が死去。

継母も病死し、厳格な父のもとで育つ。

明治天皇没・1912 = **9歳**：乃木將軍の殉死の際、妻も道づれにされたことに疑問を持ち、思想的に目覚めて行く。

民本主義・1916 = 13歳：府立第一高等女学校に入学、

性的に早熟でありながら、正義感が強く、その相克に悩みつつ思春期を送った。

原敬首相暗殺1921 = **18歳**：卒業。自由学園に入学、

関東大震災・1923 = 20歳：自由学園高等科を卒業、雑誌社勤務。諸事件に衝撃を受け、

護憲三派圧勝1924 = 21歳：早大英文科に学び、大山郁夫・山川菊栄の影響をうける。

円本時代始・1926 = 23歳：姉夫婦について渡米。ワシントン大学に入るが、意に合わず、

金融恐慌・1927 = 24歳：単身、ニューヨークへ行く。メイドをしながら、コロンビア大に入学、

世界恐慌・1929 = 26歳：画家石垣栄太郎と結婚。パールバックの主宰する「東と西の会」の講演者となり、

海軍軍縮条約1930 = **27歳**：

満州事変・1931 = 28歳：*中国侵略以降、全米各地の平和集会・教会や婦人団体・大学の特別講座などに招かれ、日本軍部批判の反戦活動を行なう。

恐慌下の耐乏生活で2児を亡くす。

日中戦争始・1937 = 34歳：

第二次大戦始1939 = **36歳**：

大政翼賛会・1940 = 37歳：ハル=マツイの名で、「Restless Wave Modern Age '40」を出版。

日米開戦・1941 = 38歳：

創価学会検挙1943 = 40歳：アグネス=スメドレーと出会い、影響を受ける。

敗戦・1945 = 42歳：

新憲法公布・1946 = 43歳：女性国際会議に日本人として出席したが、

極東裁判・1948 = **45歳**：

アメリカの共産主義排斥の波をかぶり、徹底した思想調査をされて国外追放となり、

独立回復・1951 = 48歳：*25年ぶりに帰国すると、「二十五年目の日本」を著し、以後、女性問題を中心に広く評論の筆をとり、

メデ-事件・1952 = 49歳：訳書パール・バック「神の人々」、

TV放送始・1953 = 50歳：「病めるアメリカ」。訳書パール・バック「男とは女とは」、

55年体制始・1955 = 52歳：「女は自由である」「女は太陽の如く」。『主婦という第二職業論』は以後7年に及ぶ論争の発端となった。

なべ底不況・1957 = **54歳**：「近代日本恋愛史」「夫婦 - 愛と惑いの記録」「女のよろこび」。夫が病没。

イタコラマ・1958 = 55歳：「愛と別れ 追憶の記」「女性の生きかた」、

美智子妃・1959 = 56歳：「愛することについて」「今日の女性たち あたらしい歩み」、

安保闘争・1960 = 57歳：自伝「私の爪あと」、

全国総合計画1962 = 59歳：「女論 女であることの喜びと悲しみ」「幸福になる生きかた」、

TV宇田中継始1963 = 60歳：「ソ連北欧おんな旅」、

東京初バツク1964 = 61歳：「結婚生活の知恵」「赤いおんな」。訳書アンガーとパーマン「女の子は男の子の何を知りたいか」、

大学紛争始・1965 = 62歳：「愛の聖書」、

いざなぎ景気1966 = **63歳**：訳書パール・バック「若き女性のための人生論」、

美濃部都知事1967 = 64歳：「回想のスメドレー」、

全共闘バツク・1969 = 66歳：「愛をささえるもの 不安と歓喜との調和」、

大阪万博・1970 = 67歳：「オリーブの墓標 スペイン戦争と一人の日本人」(のち「スペインに死す」、さらに「スペインで戦った日本人」と改題され文庫入り)、

ドルショック・1971 = 68歳：「つらぬきとおす愛 女として大切な勇気と決意」。夫との共著の形で「愛についての告白」、

日中国交回復1972 = 69歳：「さらば、わがアメリカ 自由と抑圧の25年」。

石油ショック1973 = 70歳：「いのちは燃える 自由と可能性を求めて」「猛女猛獣と戦う 人間の原点を求めて」、

ケアンズ事件1975 = **72歳**：「愛ある限り 若き日のスメドレー」「もとめゆく愛」、

貿易摩擦問題1980 = 77歳：「愛と自由への飛翔 自伝的人生論のこころみ」「美しく重ねる年輪 しなやかに生きる女の処方箋」、

中曽根内閣・1982 = 79歳：「いくつになっても人生は楽しい」「若く美しく生きる方法」「わが愛-流れと足跡」(のち「わが愛、わがアメリカ」と改題)、

ディズニーランド・1983 = 80歳：「美しき出会い 回想の18人」、

・1984 = **81歳**：「愛をささえるもの」「わたしの快老学」。『箱の中の人形たちよ "主婦第二職業論"その後』、

ジャンク機墜落1985 = 82歳：「アメリカに学ぶこと パール・バックの人生論」「女はいつも花のとき」、

バブル始・1986 = 83歳：

竹下内閣・1987 = 84歳：女の自叙伝シリーズで「わが愛の木に花みどり」、

リクルート事件・1988 = 85歳：「海を渡った愛の画家 石垣栄太郎の生涯」「はつらつ人生の秘訣 愉しく生きる老いの処方箋」、

ドイツ統一・1990 = 87歳：マツイ・ハル名の「憩なき波 私の二つの世界」の訳書。「生きることは挑戦することである 生き方についての458の処方箋」、

バブル崩壊・1992 = 89歳：「人生に余生はない ひとり暮らしの快老学」と、*執筆し続けて、

・1996 = 93歳：没した。没後、「石垣綾子日記」。

シリーズ「人間の記録」、「わたしの20世紀・100人」、「日本の女性」、